

新生児・乳児に対するビタミンK投与について

藤沢市民病院 NICU/5C病棟/薬局

なぜケイツーシロップを飲ませるの？

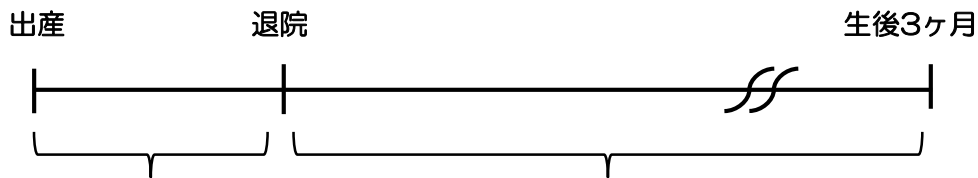
ケイツーシロップは赤ちゃんのビタミンK不足を予防するお薬です。ビタミンKは出血を止める作用を持ち、不足すると出血しやすくなります。生まれてしばらくの間はビタミンKが不足しているため、このままにしておくと生後早期の出血を引き起こし、重い後遺症を残す場合があります。そのため、ケイツーシロップで補充する必要があります。



いつまで飲ませるの？

生後3ヶ月まで、合計12回飲ませます。
初回は生まれてすぐ、2回目は生後4～5日目に医療スタッフが飲ませています。
その後は**週1回、毎週月曜日**に計10回分を飲ませる必要があります。

(例)



入院中は医療スタッフが
飲ませています。

毎週月曜日に計10回分を飲ませます。
退院後はご自宅で飲ませて頂きます。

どうやって飲ませるの？

満腹時には飲まないことが多いため、授乳の前などの空腹時に飲ませて下さい。
哺乳瓶の乳首だけを赤ちゃんにくわえさせて、シロップを少しずつ流し込んで下さい。
味を嫌がる場合は白湯で2～3倍に薄めても構いません。



飲ませるときに注意することは？

- スティックのまま飲ませると、赤ちゃんの唇を傷つけたり、間違って気道に入るおそれがあるので避けて下さい。
- 使用直前に開封し、1回で使い切ってください。
- 他のお薬と混ぜないでください。
- 目、鼻、耳に入らないように注意してください。



こんなときは…

- お薬を吐いたり、飲み残した時
- お薬がこぼれてしまった時

半分以下しか飲んでいないと思われるとき、飲んでから10分以内に吐いてしまった場合は、次回の分を飲ませて下さい。追加の使用で足りなくなった分は1ヶ月検診前であれば、検診時に不足分を医師にお伝えください。1ヶ月検診の後に不足した場合は、残りを全て飲みきって終了で構いません。

お願い

1ヶ月健診時、病院で準備したケイツーシロップを飲ませます。満腹だと飲まない可能性があるため、自宅で早めに授乳を済ませてお越し下さい。健診時には哺乳ビンをご持参下さい。